



北地域支え合い協議会 支え合いだより

第四号

2018年12月1日
鶴ヶ島市脚折 2171-1
発行責任者 橋本則雄
☎ 049-299-4586

11月5日 「わくわく子どもサロン」スタート！

子どもたちが安心安全に過ごせる居場所です。

- ※ 学習タイム：学校の宿題、学習プリントで学びます。
- ※ フレイタイム：友達同士で遊んだり、子どもたちの主体的な活動を見守ります。随時申し込みできます。

場所：北市民センター内脚折児童館

活動日：月曜日（祝日等除く）午後3時から夕焼け放送まで

参加費：無料

遊具：オセロ、ダーツ、将棋、卓球等



☆☆12月～3月までの開催日☆☆

12月：3日・10日・17日

1月：21日・28日

2月：4日・18日・25日

3月：4日・11日・18日



わくわくシニアサロン

12月6日(木)AM10:00～
北市民センター集会室

寸劇あり、歌あり、ゲームあり
バンド演奏あり、盛沢山です

さいたま防災学習センター 見学と体験研修

2019年2月17日(日)

場所：鴻巣市袋30番地
どなたも参加できます。詳細
は、後日 回覧、掲示します。



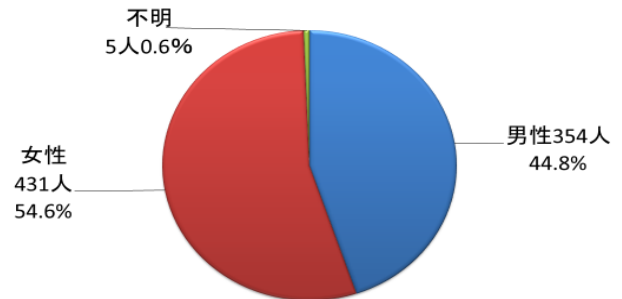
アンケートへのご協力ありがとうございました。

8月に、北地域の皆様福祉アンケートをお願いしましたところ、たくさんの方々から回答をいただくことができました。ありがとうございました。10月14日、アンケートの調査報告会が行われ、菱沼先生による分析報告と講演をいただきました。

図1. 調査の概要

調査範囲 下新田第一、下新田第二、羽折町、中台団地、はなみずき、三彩自治会
調査方法 自治会等の協力を得て戸別配布、北地域支え合い事務所、北市民センター、社会福祉協議会で回収
配布数 1,050戸(各戸2部配布)
回収数 790部

図2. 回答者の性別



回答者は男性が約45%、女性が約55%

図3. 回答者の年齢

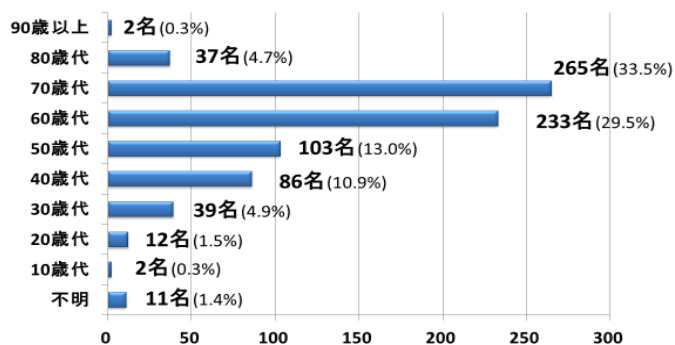
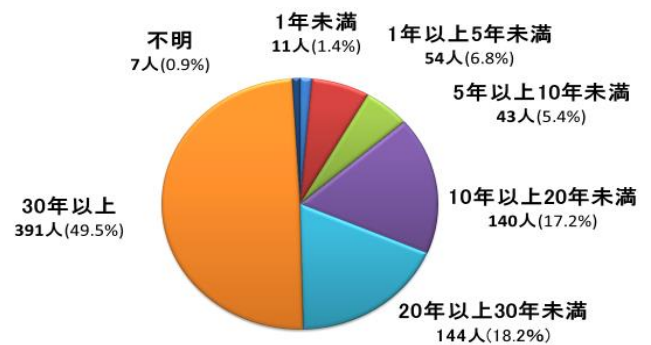
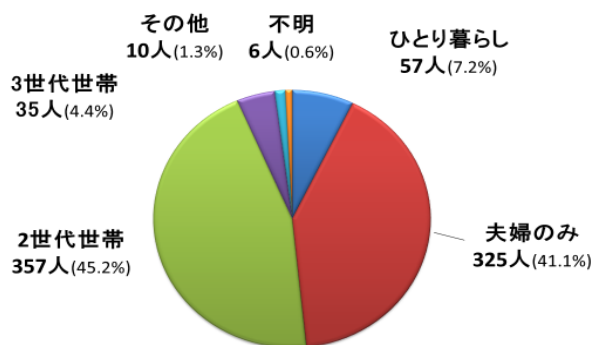


図4. 回答者の居住歴



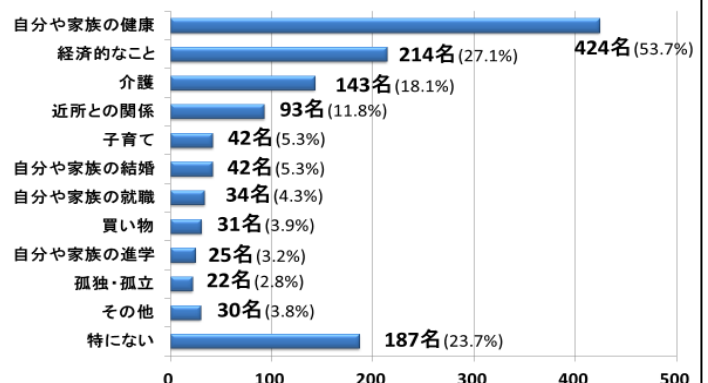
30年以上が約50%、10年未満は約14%

図5. 回答者の世帯状況



ひとり暮らし世帯が1割弱、夫婦のみ世帯が約4割

図6. 日頃、悩みや不安を感じること



《ご意見ご要望》抜粋

- 「困った方に手を差し伸べると云うより出来ることは人に頼らず努力して生活していく。」その為のアドバイスをする事を第一に考え、それも無理なら手を差し伸べてあげると云う発想の方が高齢化が進む現在では必要考えます。そもそも自治会というものがあるのに「支え合い協議会」と云うものは必要ですか。それぞれの地域支え合いはうまく活動されているのでしょうか。良い話し聞かえてきません。
- 現在、元気ですが足腰が弱った時ご利用したい。話し聞かえてみませんので地震、災害の時、情報保障などの様にして貰えるのか具体的に知りたいです。
- 北市民センターにフリーのサロンが出来ると高齢者又子ども、一人暮らしの方も利用出来ると助かると思います。6自治会共通の場としても又集会所のない自治会でもコミュニケーションが出来ると思います。

図7. 日頃、相談する相手

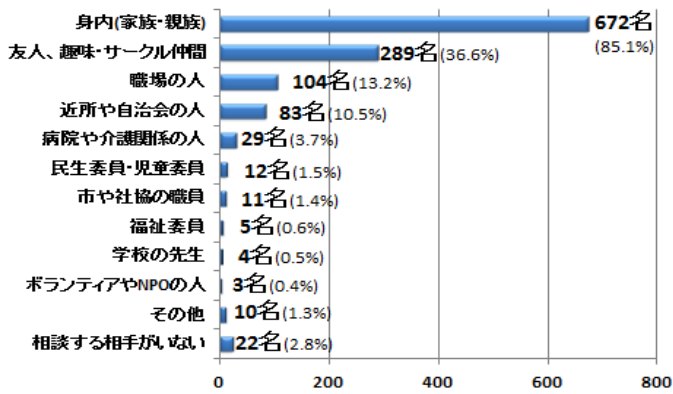


図8. 知っている小地域活動

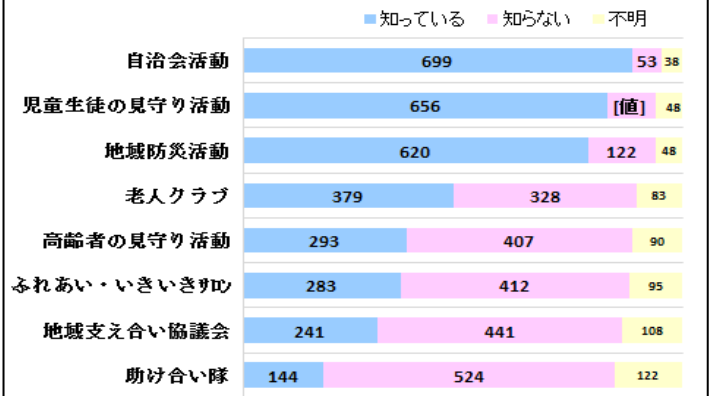


図9. 参加している小地域活動

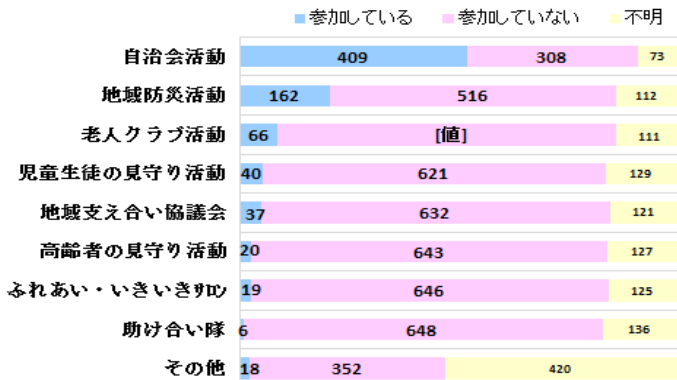


図10. 今後、利用・活動したいもの

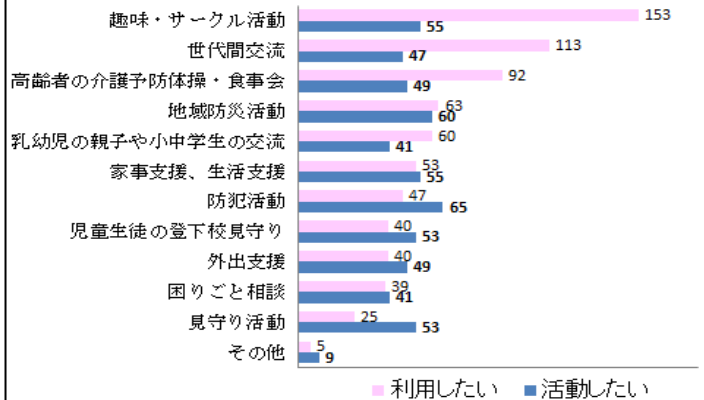


図11. 活動に協力できる頻度

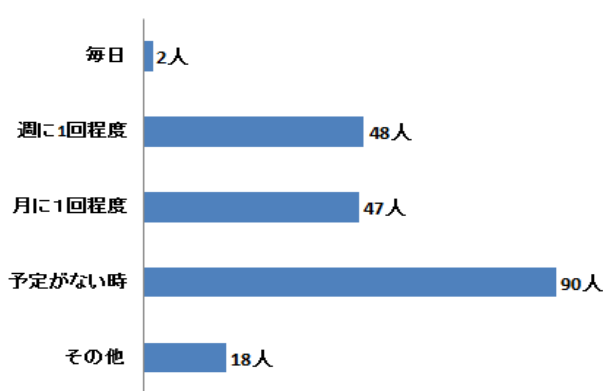
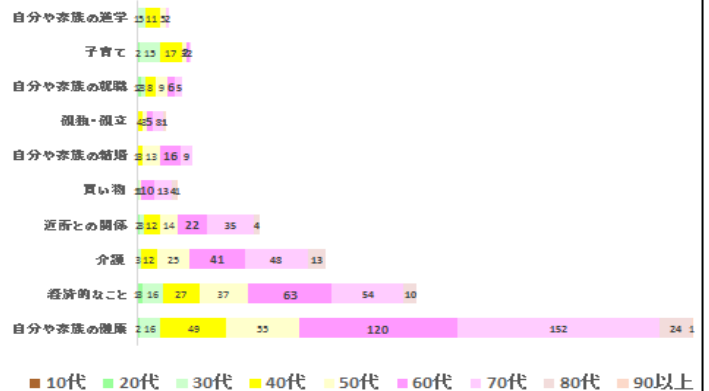


図12. 年齢と悩み・不安の関係



《ご意見ご要望》抜粋

- 協力したいと思いますが、仕事の都合などでいつ協力出来るか約束できないのが現状です。もっと気軽に協力出来たりすればよいと思います。
- 交流がなさすぎる。同じ町内でも知らない人が多い。北市民センターの朝のラジオ体操の参加者が増えると少しは良くなる様な気がします。
- 支え合いと云っても何処まで踏み込んで良いのか判断し難い。
- 自治会、社協、地域支え合いはそれぞれ具体的に何をしてくれるのか。利用したい場合、どこに申し込みが良いのか。
- 私も高齢なのですが元気な方なので、お隣足が悪いのでの生ごみも出しています。お互い助け合って、声掛け合っていけたらいいなと思う。

《まとめ》

「自分や家族の健康」について悩みとを感じる人の割合は、他地域に比べても割合が多く、自由記述にもラジオ体操について記載のある方が多くいたことから、この地域の健康に関する意識の高さが分かる。また、「孤独・孤立」を悩みとを感じる人が22名いることは割合として少ないが、40代から70代までの広い年代層にわたる悩みを感じることであることが分かった。しかし、他地域に比べ「近所や自治会の人」を相談相手に多く上げられたのは、この地域の関係性の力が大きいと分かる。これらのことから、この北地域では、地域防災や防犯活動、健康に関する地域活動等を行うことと、地域の課題を住民同士で解決し、より暮らし易くなることと分かる。

(福祉アンケート調査分析・報告：日本社会事業大学社会福祉部 准教授 菱沼幹男氏)

9月9日(日)《地域デビューきっかけ広場に初参加》

市役所1階ロビーで開催されたシニアの地域デビューのきっかけ作りの場です。今年、初めて北地域支え合い協議会も参加しパネルで活動を紹介しました。あなたも地域デビューに参加しませんか。(地域デビューは、防災・防犯等ボランティア活動の他、自治会・支え合い活動をさします)



9月9日(日)《敬老会》～羽折町自治会との協賛～

歌やゲームなどのお楽しみの他、最近社会問題となっている「振り込め詐欺、還付金詐欺」等の特殊詐欺について西入間警察による講話がありました。子供たちも参加して有意義な時間を過ごしました



10月28日(日)《防災・避難訓練を実施207名参加》

直下型地震6強の発生を想定した訓練を行いました。消防署員の方々の指導により各訓練を実施した後、“すいとん”の試食をしました。「災害は忘れたころにやってくる」「備えあれば患いなし」次回はあなたも参加しましょう。



開始前の説明

防災グッズ作成

消火訓練

煙中通過訓練

AED訓練

すいとん試食

11月17日(土)《高齢者交流会》～輪をつなぐ会との協賛～

津軽三味線奏者の白渡忠三氏の演奏と歌謡ショーやお楽しみ抽選会があり、昼食を共にし、楽しい時間を過ごすことができました。



※ 本号は、アンケート結果を中心に編集いたしました。

孤立・孤独のない地域社会を一緒に作りませんか。会員募集中！

問合せ先 ☎/Fax **049-299-4586** (毎週水曜日 10時～12時)

北市民センター内北地域支え合い協議会事務所 (不在の場合、留守番電話・Faxへ)